

No.14	2014・1・1
NPO 法人 まついだ森の家	
〒379-0211	
群馬県安中市松井田町上増田670	
TEL/FAX 027-393-0655	

里山日記

数年来の天候パターンで突然の大雨、猛暑。昨年もその様でした。この町へ入ってから20年にもなるけれど、ふり返って見ると天候の面ではとても良い位置に有ると思われれます。日本海側、太平洋側とそれぞれに大雨、台風の被害が出ているのに松井田では今のところあまり無い。群馬県であっても北の沼田あたりは気候が随分違って厳しい。前橋、高崎あたりでは赤城山を吹き降りしてくるから、風は大変な強さである。森の家の有るこの町は、北の草津の山々、

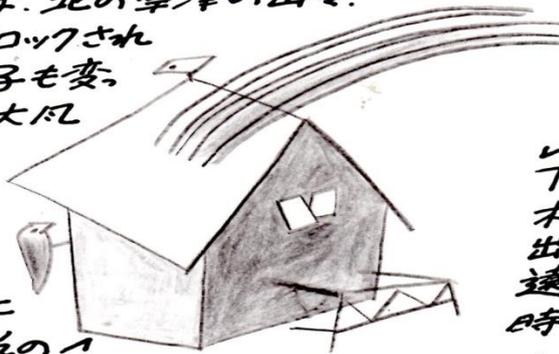
西は長野の山々にブロックされ守られていて天候の様子も変わってくる。やたら大雪にも大風になる事もあまりない。

天気の話で続けるとしばらく前にちよとめずらしい事に出かけた。

雨後の虫が石壁かきよこから立っている。あたかもその一ヶ所と……ちよとめずらしい。

昨秋は暑さが残って秋は来るのかと思われたくらいだったけれど、寒くなるのも急だった。紅葉も見られたし、柚子や柿の実のりも良かった。のに1本だけ柿を取り残してしまっただけ残念であるけれど。

森の家には新しい風が吹き始めています。今年は何だか森の家の屋根から虫が立っような気がしている。 邦



下へ入り込める様な場面に出かけたのです。遠くに見る虹は時折見るのだ

文・イラスト 石橋



クリスマス飾り



お正月飾り

みんなお客様が いらっしゃいました

今回は、森の家のデイユースの
お客様をご紹介します。

高崎「のぞみの園」、「友愛会（福島からの原発避難施設）」、渋川「三愛荘」、前橋「ぷらーな」、
この3か所から、延べ12グループ、100名近くのご利用がありました。
その他に高崎「トモロの森」さんは、全員が何回にも分かれて森Cafeランチにいらっしゃいました。

職員と利用者さん1対1で2名、のご利用から、総勢17名（ぎっちり！）まで様々でした。
お食事は、ご予算に応じます。ミキサー食、刻み食もちろん対応します。（こちらはまだスタッフの対
応力が十分でないため、試行錯誤中ですが）お食事内容のご希望にも、できる限り添うようにしています。
皆さん、‘外出’それ自体が楽しい事でもあり、普段よりぐっと食欲が増すようです。
オプションで、入浴・足湯マッサージ、リース作り・キャンドル作りも行われました。
又ボランティアさんによるヘルマンハーブの生演奏もありました。

なかなか普通のお店での外食が無理な方々にも楽しい雰囲気でお食事をしていただきたいと、たくさんのボ
ランティアさんが支える体制をとっています。サポートする職員さんがリラックス出来ることも重要です。

***そのままOK*の場所でありたいと思っています。**

写真は、ぷらーなの皆さんです。

特別仕様の車いすで、ホールはいっぱい！ 1対1の職員さんの優しい行き届いた対応で、皆さん、笑顔。



ボランティアさんによるアロマ
足湯マッサージ。気持ち良くて寝
ちゃいました！



お食事介助しつつ、自分も食べ
つつ、他にも気配りの職員さん

廊下も広い！
車いすですれ違えます。
「帰るぞー！」
「オー！」



ボランティアさんによる
ヘルマンハーブの演奏



二人並んでいい雰囲気♡



ようこそ 松井田へ

坂本宿の隠れ家 Cafe



ま・め・ぐ・ら

まめぐらは、オーナーの関さんが普通の民家を約1年かけて自分でリフォームした小さな喫茶店、落ち着いたたたずまいの和風のお店です。平成12年にオープン。「まめに生きる」との思いでの命名されました。まめぐらでは11年目を迎えるコンサートの他にも、青空市（バザー）、音楽講座、キャンドルナイト、詩の朗読会等を実施しています。恒例となった春の3人展には素晴らしい作品と桜を楽しみに県内外からたくさんの方が来られます。手作りのケーキは美味しいと評判です。オーナーの関さんの構える所のない優しい笑顔とセンスの良い和みの空間がまめぐらの魅力です。



安中市松井田町坂本909
Tel 090-6171-6079
10:00~16:00 (水) (土) (日) 休み

関さんは、岩手県の「あまちゃん」の舞台、久慈のご出身です。東京で結婚してご主人の故郷である松井田に引っ越してこられました。子育てとまめぐらを通じて、すっかり「坂本のおかあさん」ですが、毎週（水）には、安中の地域活動センター「ワークショップきぼう」の職員として、クッキー作り指導の他、メンバーさんたちの絵や書などの創作活動の支援も行っています。 (小林 記)



オーナー 関 智江美 ひとこと

いろいろなイベントにおいて、主催者と、演奏者と、作家の方、お客様、皆が幸せな気持ちになるよう、心がけています。幼かった娘たちも大きくなり年ごとに状況は変わりますが、その時できることを、無理なく、無駄なく、まったりと、していこうと思います。大事なことは、普段の生活の中にあると思うから……。

12月8日、今年閉校になった坂本小学校を会場に「2013ありがとうバリトン&ピアノコンサート」を行いました。約70名の方が来校。

木造校舎でのコンサートは優しい気持ちになり、ほんとに温かい時間でした。今年もそんな時間を持てる企画をしていきたいです。

坂本宿のはずれ、それも裏通りにあり、辿りつきにくいのでご注意ください。(それも魅力です。)

編集部註



はじめまして。NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェです。

ひだまりのように暖かで、たくさんの方が集まる場所。そしてマルシェ(市場)のようにおいしい食べ物が溢れている場所。私たち Annaka ひだまりマルシェは、ここに来れば何か楽しいことがありそう！と想像していただけの場所づくりを目指して、2013年11月17日にオープンしました。

1年間の市民活動を通して「自分たちの拠点になる場所がほしい」という思いにたくさんの方が寄り添ってくださったことがとても心強く、私たちが「これから頑張ろう！」と思える原動力となっています。

私たちは、ひだまりカフェを初めとした以下の3つを活動の柱としていきます。

① みんなが集うひだまりカフェ

おじいちゃん、おばあちゃんから子どもまで。ここに来れば誰かがいる、という安心感をもてる場所を目指します。

② 生活サポート事業

- ・買い物代行業業…松井田地域での買い物をお手伝いします。

原則として松井田商店街での買い物を代行することで地域循環型社会を提供します。

- ・ファミリーサポート事業…お子さんの一時預かり、介護のお手伝い等のお手伝いをします。人的資源においても、地域住民の支え合いで、地域循環型社会を提案します。(2014年度始動予定)

③ 福島を想う

東日本大震災からもうすぐ3年が経とうとしている今尚15万人が避難生活を送る福島を、私たちは想い続けていきます。

- ・どんぐりの森づくり・・・子どもたちと一緒に植えたどんぐりの苗を育て、南相馬の防潮堤として植樹するプロジェクトに参加しています。自分の植えたどんぐりが誰かを救うかもしれない、という思いは、命の大切さをストレートに子どもたちの心に届けているように感じます。
- ・イベントの開催・・・2014年2月23日には、被災地の伝統芸能を継承している荒馬座をお呼びして、被災地に寄り添うイベントを開催予定です。まずは現状を知ることから、という思いで企画しています。

●お問い合わせ：027-384-3131

Annaka-hidamari@mail.goo.ne.jp

●私たちの活動をご支援いただける会員の方も募集中

●ひだまりカフェ ※11月20日から通常営業しています。



- 定休日・・・月、第1, 3火
- 営業時間・・・11時から18時
- ランチメニュー・・・チキンカレー、特製豚丼、ほうれん草のフレッシュサラダなど

・玄関市・・・地元生産者さんの新鮮野菜直売



●生活サポート事業部

- 定休日・・・土、日、祝日
- 受付時間・・・9時から16時
- 買い物代行業業(担当:神戸) ※買い物をお手伝いいただける方を募集中です!
- ファミリーサポートセンター事業(担当:今村) ※サポーター登録していただける方を募集中です!

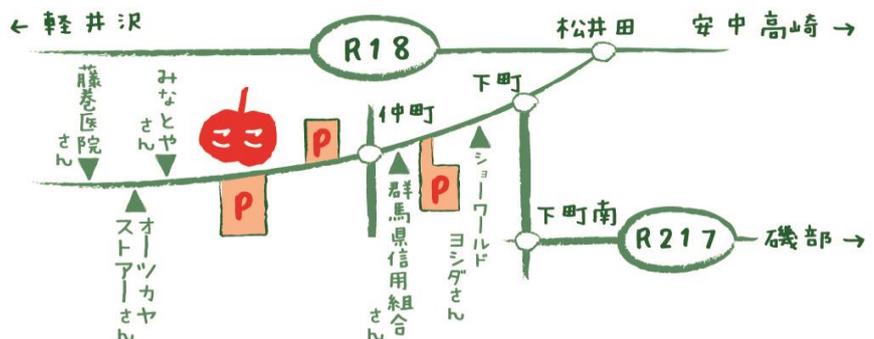
ぜひお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

(ひだまりマルシェ代表 岡崎記 / 児玉編集)



11月1日オープン時の様子
とても暖かく穏やかな日で
沢山の方が来てくれました

P 商店街無料駐車場が3か所あります。
こちらをご利用ください。



家の近くに動物園があるので、子供連れのお父さんお母さんが歩いている光景を毎日のように目にします。特にお父さんやお母さんが子供を抱いたり手を引いたりして、にこにこ歩いている姿を見ると、ふいに鼻の奥がつんとして、泣きたいような気持ちになります。

子供って、抱いてみると意外に重いものです。生まれたばかりの赤ちゃんでも3キロくらいあるはず。3キロのダンベルや米袋を渡されて、これを持って歩けと言われてたら、すぐにバテてしまうでしょう。でも、抱いているのが可愛い自分の子供なら、きっとお父さんもお母さんもいつまでもどこまでも平気で抱いて歩いていられるのです。凄いな、親って。ありがたいな。そう思うと、涙せずにはられないのでした。

私は子供の頃から変わり者だったので、両親にはいつも心配ばかりかけていたように思います。ただの変り者ではなく、心の病気だということが判るまでは、どうして自分はこんなにいつも人とぶつかってしまうんだろうと悩むいっぽう、両親に心配をかけているということにはたんで無自覚なところがありました。そして、統合失調症と診断されてからも、とにかく毎日生きているのがつらくて、死んでしまいたいと思ったことが幾度となくあったのですが、その時も自分だけが悲劇の主人公で、残された両親がどんなに悲しむかということにはまったく考えが及びませんでした。

そんな身勝手な私の頭をぶん殴ったのは、はたちになったばかりの年下の友人の自死でした。残されたお母さまの気持ちに何とか寄り添おうと不器用に手紙をつづるうちに、親というものはたとえ子供を亡くしても親なんだという当たり前の事実を思い知らされました。親にとって、子供に先立たれるということが、どれほど重い、つらいことなのか。こんな優しいお母さまがいても死を選ばざるを得なかった友人の苦しみは計り知れないけれど、でもやっぱり、生きていて欲しかったという思いは、年月が経つほどに深くなるのです。生きていれば解決することは一杯あるじゃないか。あの頃は乗り越えられないと思っていた壁も、いつの間にか無くなっていたり、どうでもよくなったりしているじゃないか。そして、死ぬことしか選択肢がないと思っていた若い日の自分を恥じました。彼女の死を止めることが出来なかった自分の弱さ、幼さを心の底から後悔しています。

動物園への道をてくてく歩いている幸せそうな親子連れにも、いつか、必ず別れがやってきます。親はどうしても子供より先に死んでしまうものだし、かといって親より先に子供が死んでしまったらこれ以上の親不孝はありません。誰も死なないにせよ、なにかの拍子に家族が離れ離れになることだってあるでしょう。だけど、それが運命ならどんなにつらくても受け入れるより他はない。今は、家族そろって動物園への道を歩いているけれど。

子供って忘れっぽいから、動物園に連れて行ってもらったこともじきに忘れてしまうかもしれませんが、お母さんが作ってくれたお弁当の味や、疲れてぐずったらいつでも抱き上げてくれたお父さんの腕を、何かのついででもいいから思い出してくれるといいな。そして、心のどこかに刻みつけておいてほしい。自分は愛されていたのだということ。自分がいなくなったら悲しむ人が必ずいるということ。

転々（ペンネーム）・・・名古屋市在住。物書き志望。統合失調症歴20年

この文章に対するご感想などをお寄せください。 → reiko-daidoji@mva.biglobe.ne.jp

転々ブログ 「プラスチックサーカス」 <http://plasticcircus.blog.fc.com>

♣♣♣♣♣♣こんなイベントありました♣♣♣♣♣♣

まついだ森の家 in 第21回まついだ夢伝

実行委員会参加そしてテント出店二回目の今年は、雨天による競技中止となり、アトラクションのみ体育館内で実施されました。

そんな中でも、森の家ブースはボランティアスタッフが健闘、モツ煮やおかえり焼き（完売）、バザー品や、クッキー、小物などを販売。PRに努めました。

写真・記：笹とも



青木大輔×笹久保伸 フォルクローレ コンサート



気持ちの良い青空が広がった10月27日、青木大輔さんと笹久保伸さんのフォルクローレコンサートが満席のお客様の中、開催されました。

2年前には青木さんのソロコンサートをいたしました。今回は青木さんのサンポーニャに笹久保さんのギターが加わり、また更に迫力ある演奏を皆さんにお楽しみいただけたいと思います。

2人の息のあった演奏とおしゃべりに魅了された2時間でした。 記：織茂



みんなの森C a f eランチ

今年度は、5月30日～12月12日までの毎週木曜日、週替わりシェフで、実施されました。

毎回、10人から20人程度のお客様をお迎えしました。

このカフェの特徴は、毎回「出会い」があることです。友達がつながったり、仕事がつながったり、話も、物もつながって・・・。

体に優しい手作りの食事とスイーツ（1,000円・採算度外視?）。窓の外の木々、室内の花々とともにゆったりした時間を過ごしていただけます。

フットorハンドマッサージもお受けできます。ご希望により全身マッサージも。

2階の広い和室は、乳幼児連れのお母さんグループの貸切利用に最適です。おもちゃも絵本もあります。

また来年春からの営業をお待ちください。



「かっこちゃん in」安中を終えて

実行委員会事務局 深谷智子



その場にいた誰もがキラキラして、愛とパワーにつつまれた一日でした

12月1日(日)にNPO法人まついだ森の家主催の「かっこちゃん in 安中 「1/4の奇跡」上映会&山元加津子先生講演会」が安中市文化センターで行われ、500名以上の方にお集まりいただきました。

このイベントを通して、障がいのある人もない人も共に手をつなぎ、誰もが住みよい町を作る、それを安中市から実現することを目指して企画いたしました。

まついだ森の家にとって、会館を使用した初めての大きなイベントです。

石川県金沢市の現役の特別支援学校教諭である山元加津子先生は、前日の立川市の講演に続いて、“障がいがあってもなくてもすべてのものはつながっていて、可能性がある”というお話をしてくださいました。そして内に秘めた芯の強さを感じる素敵な笑顔と優しさで私たちを魅了しました。山元先生ありがとうございました。

～心強い実行委員会メンバー～

最初は実行委員会を立ち上げ、スタッフ集めから始めました。7月末に映画「1/4の奇跡～本当の事だから～」の無料試写会を昼夜2日間開催しました。100名以上の方にご覧いただき、その中から上映会&講演会の開催趣旨を理解・賛同してくださる76名の方が、実行委員に名乗りを上げてくださいました。それから実行委員会が運営する形で開催の準備が始まりました。その中にももちろんまついだ森の家の理事、会員も含まれまれています。心強い実行委員メンバーが集まりました！

～実行委員長も司会も当事者！～

実行委員長は、まついだ森の家ボランティアスタッフであり、この「森の家通信」の執筆スタッフの一人でもあるアスペルガー症候群の高校生堀越風人君。そして同じくアスペルガーの今井匡さんは司会



で活躍しました。「社会で生活していくには周りの理解が必要」と発信するお二人。風人君は堂々と挨拶され、今井さんは滑らかな口調で司会を、それぞれ役割を果たし、障がい当事者が活躍できることを実践して見せてくださいました。

～準備が始まって～

8月より本格的に実行委員会がスタート、グループに分かれお客様をどうお招きするかを話し合いました。私は事務局で皆さんへの連絡を中心に担当させていただきました。実行委員一人一人が真剣に考え、一人一人の主役がここから始まっています。



「物販」は日頃の森の家での広報活動のたまもので、あっという間に来店先が集まり、「託児」ルームではリアルタイム上映で親子で視聴できるアイデア、「ステージ」ではオリジナルソングができるなど、毎回実行委員会は活気にあふれていました。

チラシ1万枚、ポスター2千枚を9月末から配布開始。安中市内ではどこへ行ってもポスターが見られました。チケット販売は、講演会二日前の最終集計で予約を含め600枚とわかり大きな拍手がわきあがりました。チケットが売れたことで一体感が増した気がしました。

～いよいよ当日～

12月1日当日、快晴、風もなく最高の一日が始まりました。当日来場者も含め、駐車場の混雑が予想されたため、急遽森の家の会員の方がお手伝いに来てくださいました。物販は販売品の増量をしたりと、その他、ステージ、各グループがそれぞれに考え、誰がいうともなく準備がいつのまにか整っていました。本当に素晴らしいチームワークでした。



10時に本鈴が鳴り響き午前のステージ本番が始まりました。一番のシャインスターズのノリノリのジャズから始まり、クォータームーンさんがオリジナルソングを歌い始めたところにかっちゃんが到着！歌を聴いていただくこともできました。20歳の記念で



著書にサインするかっちゃん

作品展示をされた矢島瞭くんも、人ごみが苦手にもかかわらず登場してくださいました。会場中いつでもどこに行っても笑顔がいっぱいでスタッフお客様全員がキラキラ輝いていたのが印象的でした。このような素晴らしいイベントの一員として参加できた事に感謝するとともに、かっちゃんを始めひとりひとりの笑顔がかけがえのないものとして記憶に残るのは間違いありません。それは、私だけでなくこのイベントに関わった方皆さんが思うところではないでしょうか。

今回は安中市にご共催いただき、市長並びに福祉課、文化センターの方に大変お世話になりました。ご相談に伺って当方の要望もたくさん聞いていただきました。この場をおかりしてお礼を申し上げます。

僕の夏休みの初体験

アスペルガー症候群とは、発達障害の1つで、脳の機能や感覚・認知に偏りがあるが、知的な障害がない自閉症のこと

この夏、松井田森の家でバイトをさせていただきました。初めてのバイト体験です。お皿洗いや花の水やり、ベッドメイキングなどなどいろいろなことをさせていただきました。そのなかでアスペの子供を持つお母さんと話すということもさせてもらえました。そこで感じたことは、時代は変わってきているということです。障がい者についてあまり知らない人も、アスペルガー症候群などの名前は知っている等、障がいの事全般が普及してきていると思いました。認知され出していると、本で読むのではなく実感を掴めたのがよかったです。他にも障がいを持つお母さんの心配なことなどの、いままで自分があまり気にしなかったこともわかりました。これからもっと身近になっていけばいいと思います。

工房あかね展・里山の癒し 予告

1/31 (金) 2/1 (土) 2/2 (日)
2/7 (金) 2/8 (土) 2/9 (日)

工房あかねの作品等展示

ランチ&カフェ

毎日ワークショップ

バザー・福袋

クラフトショップ・アロマ

毎日コンサート

・おやつ・美味しいもん・

毎日マッサージ

毎年恒例 やっちゃんの味噌作り教室 予告

一度作ったら、もう市販品はたべられない！

大好評で、年々参加者が増えてます。

3月6日(木) 14:00~16:00 まついだ森の家にて

1kg600円 (1口5kgでお申込み下さい) 先着60kgにて〆切

*支度・用具等お問合わせは、

高階康彦 070-5566-3997

まついだ森の家 027-393-0655

事務局ニュース

障がい割引を始めました

手帳お持ちの方ご本人に対し、1泊2食7000円のところ、1000円割引（小学生以下500円）となります。11月末までに、延べ75件のご利用がありました。

障害をお持ちの方は、お一人ではなかなか宿泊利用が難しい、ご家族あるいはサポーターの同伴宿泊が必要な場合が多い、そのような状況に対して、少しでもご支援できればと考えての割引サービス導入です。順調にご利用いただいております。

東京のs様から福祉車両をご寄付頂きました。

写真のように、助手席の後席が、電動で車外に出てそのまま車いすとして利用できます。乗車時は普通の座席として違和感がなく、森の家としては、初めての自社所有の福祉車両です。送迎に大変有難く、感謝して使わせていただきます。



「コープぐんま」から寄付金（50,000円）をいただきました。



寄付を受け取る黒羽理事長

コープぐんまでは、社会貢献の1つとして、毎年事業収益の一部を県内の環境保全団体と福祉団体へ寄付しています。まついだ森の家は今年度福祉団体3か所のうちの一つに選ばれ、10月19日、贈呈式と交流会がありました。

頂いたご寄付は、今年度から始めた「障がい児者割引プラン」用資金として有難く使わせていただきます

編集後記

季節が変わるように、人も物も森にも変化の時が来たのかな・・・。(Y)

今回記事を書かせて頂き、意外に難しかったので皆さんの苦勞が解り、良い勉強になりました。(S)

高崎小林山での金澤翔子さんの書展は、お寺の佇まいに書がマッチして、それは見事でした。翔子さんの無心の精進の力にうたれました。(T)

森の家 素敵に春を迎えます。どんなになったか見に来て下さい。
フ フ フです。(U)

寒いですね。母娘共に寒さによる手足の冷え、腰痛、しもやけ対策に必死です。春よ早く来—い。(K)

まついだ森の家 ご紹介

◎ホームページURL <http://www.normanet.ne.jp/~morinoie/>

「まついだ森の家」で検索してください。

.....HP更新作業中。2014年当初up予定.....

◎ ブログURL <http://matsuidamorinoie.gunmablog.net/>

「まついだ森の家里山日記」で検索してください

◎ facebook ご覧ください

◎ E-mail matsuida-morinoie-2007-npo@amber.plala.or.jp

会員・寄付者 お名前(敬称略) 2013/12/18現在

【正会員】(25名)

天田和也、石井義通、石橋興子、内田康子、織茂加代子、影山太一、狩野洋子、上泉歩、木下美幸、黒羽知代、小井戸絵理子、小林脩、小宮清、小宮弘美、小宮弥生、佐藤貴雄、佐藤智久代、高階康彦、滝沢久美子、富樫真澄、深谷智子、藤尾正明、古溪理哉、堀越美妃、吉井貴志

【賛助会員】(135名)

秋山博明・広子、甘田恵子、天田文子、安藤千枝子、安藤洋子、五十嵐聖子、池田誠司、池田直子、石井昭子、石井征雄・恵子、石川理恵、石田英治、石原作知子、一場正人、伊東葉子、今井悦子、岩井均・智子、岩崎和子・久人、岩崎俊明、岩崎賢江、岩鼻愛里、上杉洋子、上原君代、上原恵子、上原静子、潮忠男、内堀幸恵、悦永昭子、大久保妙子、大崎千都子、大里和代・健一郎、大西和子、岡寿子、岡崎恵美子、岡庭秀雄・潤子、沖山雪子、小野寺光源・かなえ、勝村良一、加藤聖午、金井伸一郎、金子修・光子、神山朝子、川島真理子、北岡三知男、木村晃、木村薫、木村紀子、工藤泰子、熊谷充子、栗田俊明、黒岩勢津子、黒羽正明、小池光江、小坂橋のり子、黄スーヨン、小暮栄子、小沼利樹、小林和夫、小林滋、小宮為雄、小室てる、近藤龍良、西郷孝彦・敬子、桜井ひとみ、桜井三喜子、佐藤和子、佐藤かほる、佐藤千賀子、佐藤幸雄、佐藤和枝、渋谷妙子、渋谷惇江、島野健太郎、島村敦子、島村昌子、志村加代子、白石恵子、白川紀子、進藤陽一郎、鈴木拓実、須藤いく子、角幸子、関口陽子、大道寺彩子・玲子、高石知枝、高橋洋子、竹歳正子、竹中志津子、伊達富美子、長義光、轟まさえ、中畝常雄・治子、中尾新之、仲世古隆臣、中田静江、永沼勲・昭子、長山由利子、鳴嶋誠、南部康光、西尾陽子、根本直子、納富沙織、野村彬、萩原千栄子、蓮沼光世、早川恵子、林崎正史、原田てる子、深津弥恵子、福田孝子、藤尾孝枝、藤岡恵子、古川佐喜子、星野幸一、本多栄一、本多操、松尾浩子、真庭孝子、三浦由喜子、水村潤子、森下博子、薬師寺正敬、矢嶋洋子、柳沢きく江、山川賢治・玲子、山口久代・克美、山口かほる、山村孝子、山本美智子、油木時子、湯本静江、湯本見千子、横谷香代子、吉岡荘太郎、吉田恒子

【活動会員】(79名)

阿部宗治、新井牧子、荒川邦孝・勝美、石田実可子、石塚彩子、石渡正敏、上野英雄、上原明子、潮すみれ、潮晴美、榎沢郁子、大島真弓、大塚聖子、大塚寿子、岡島春枝・佳樹、岡本京子、小野真理、小原敬太、金子真梨子、亀田俊子、川田明美、神戸まさ子、久住由紀子、小坂橋一恵、郷原光子、小久保雅子、児玉葉子、小林智子、小林旨臣、小宮逸子、坂本洋子、櫻井郁、重田実、柴崎智美、下里沙羅、神保弘、杉山すみ代、須藤敏弘、関智江美、高橋比佐乃、多胡恵美、多田貴枝子、只木ちよみ、田中和子、谷川弥、中津瀬隆、中西雅人、中橋奈穂子、名倉康之、萩原精肉店、畑山巻子、濱口徹夫、原間啓史、平井美子、平岡亜理子、平林紹代、平林茜理子、藤尾正栄、藤岡春樹、古館多美子、堀越風人、本田豊・奈穂、黛栄子、黛恵美子、南順子、武藤幸子、森下修、安川江美、山口さとみ、山口テル子、横田寛子、横山節子、吉岡洋子、吉崎睦美、吉田のり子、依田雅尚、若林泰秀、渡辺佳奈実、渡辺聖、割石羽巴子

【寄付】(2名)

野明 康子、佐藤 祥子

【物品寄付】

小宮清(ステレオ・CD)、池田敦、潮忠男、小林脩、黛丞、佐藤かほる(野菜・花苗・花木・球根・果実・ハーブ)

木下美幸(LED電球) 星野和(ピザ窯製作・斧・薪) ソガベ(福祉車両) 狩野信(鉄板)

*たくさんの方々から、「あかね展」「春市」にバザー品をお寄せいただきました。

【ボランティア】

進藤陽一郎(木伐採) 宮本奈江・小林脩・潮忠男・吉田忠男・天田寛幸(草刈) 島村敦子(ヘルマンハーブ演奏) 湯本見千子・深谷智子(森Café) 深谷智子(足湯マッサージ) 柴崎智美(福祉ランチ・通信編集) 小宮弥生・織茂加代子(会員管理) 内田康子・高橋洋子・小林脩・児玉葉子(通信) 高橋洋子(掃除・EM) 潮忠男・池田敦・小林脩(車ボラ) 石川幸男・渡辺宏樹(HP作成) 斎藤宏子(蘭) 湯本静江(布小物) 工藤登一(鉢植え・ピザ作り) 滝沢久美子(福祉図書・切手) 吉原要(薪) 金古佳和・丸山裕太(PCヘルプ) 小暮栄子・星野和(ピザ作り) 萩原伸司(柚子・ブルーベリー)

*たくさんの方々、会議・イベント・物販・障がい者対応等のご協力をいただいております。

【法人会員】

(有)ヒューマンインティグリティ、(株)高橋ハウジング、(有)ゆう優ハウス大和

ありがとうございました。